



Photo: 後原菜治

近藤伸子 プロフィール

国立音楽大学附属中学・高等学校を経て、東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。シュトックハウゼンのピアノ曲に関する論文と演奏で博士号取得。文化放送音楽賞受賞。1986～88年ドイツ学術交流会(DAAD)奨学生としてベルリン芸術大学へ留学、最優秀で卒業。A・シュナーベルコンクールで1位なしの第2位、受賞コンサートでの演奏は「ターゲス・シュピーゲル」紙で絶賛される。プゾーニ国際コンクール入賞。1990年ウィリアム・カペル国際ピアノコンクールでナンシー・ミラー記念賞を受賞。ベルリン交響楽団、シンフォニーオーケストラ・ベルリン、ハイドン・オーケストラ(イタリア)、東京交響楽団、東京芸大オーケストラ他多数のオーケストラと共演。現代曲や新作初演にも意欲的に取り組み、「サントリー・サマーフェスティバル」「東京の夏音楽祭」他に出演。1993年にはリサイタルシリーズ《20世紀のピアノ曲》を開始。近年はJ.S.バッハの作品も集中的に取りあげ、特に《平均律クラヴィア曲集第1・II巻》全曲によるリサイタルは高い評価を得た。2015年、シュトックハウゼンの「自然の持続時間」のリサイタルの成果により文化庁芸術祭優秀賞受賞。ピアノを井上初子、高良芳枝、安川加壽子、小林仁、K・ヘルヴィヒ、G・シェバック、室内楽をH・ピュイグロジェ、本荘玲子の各氏に師事。来春、4枚目のCD《J.S.バッハ：フーガの技法》をリリース予定。現在、国立音楽大学教授。 www.kondonobuko.ne.jp

リサイタル評より

《Kondo Nobuko Plays Bach VIII—フーガの技法》2015年11月

(前略) 近藤はこの壮大な曲に極めて高い集中力で、まるで求道者のごとく挑んでいった。バッハならではの精緻な構造を表現し、磨きぬかれた演奏には、崇高ささえ漂っていた。

(伊藤制子氏評 — 音楽の友2016年1月号)

《20世紀のピアノ曲VII—シュトックハウゼン最後のピアノ曲》2014年11月

演奏し、響きに耳を澄ましてながら時間を生成していくその有り様は、どこか秘教的であるが、その無限のダイナミズムによって、シュトックハウゼン晩年の音に対する思想を美しく伝えていた。

(三橋圭介氏評 — ムジカノーヴァ2015年2月号)

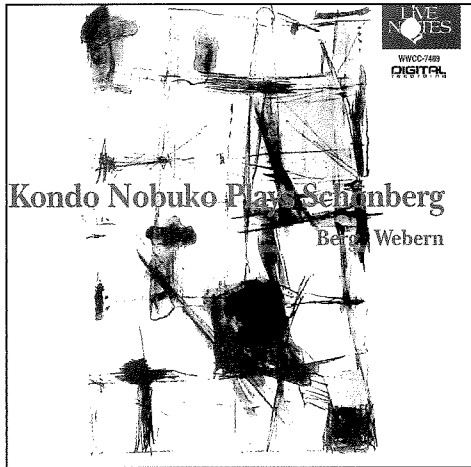
Kondo Nobuko Plays Bach シリーズの歩み

- I. 1998年 ゴルトベルク変奏曲 BWV988
- II. 2000年 平均律クラヴィア曲集第I巻 BWV 846-869
- III. 2005年 平均律クラヴィア曲集第II巻 BWV 870-893
- IV. 2007年 パルティータ BWV 825-830
- V. 2010年 イギリス組曲 BWV 806-811
- VI. 2011年 フランス組曲 BWV 812-817, フランス風序曲 BWV 831
- VII. 2014年 イタリア協奏曲, 3声・6声のリチェルカーレ(音楽の捧げもの) 他
- VIII. 2015年 フーガの技法 BWV 1080 他

20世紀のピアノ曲 シリーズの歩み

- I. 1993年 K. シュトックハウゼン: ピアノ曲 VII VIII X XI XII
- II. 1996年 K. シュトックハウゼン: ピアノ曲 V XV コンタクテ 他
1998年 J. ケージ: ソナタとインターリュード 他
- III. 2002年 武満徹: フォーアウエイ, クセナキス: エヴリアリ 他
- IV. 2008年 K. シュトックハウゼン: ピアノ曲 XIII, ティアクライス 他
- V. 2010年 A. シェーンベルク: 浄夜(トリオ版), 3つのピアノ曲 他
- VI. 2012年 O. メシアン: 世の終わりのための四重奏曲 他
- VII. 2014年 K. シュトックハウゼン: 自然の持続時間(全24曲)

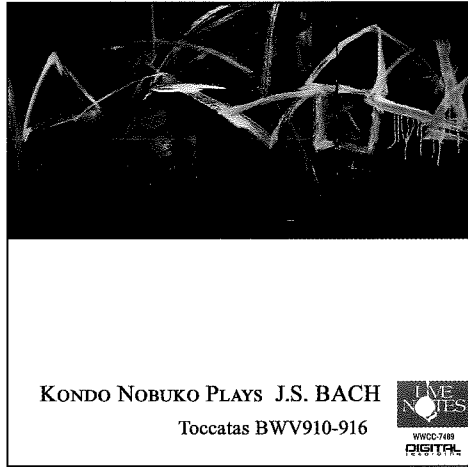
CD 好評発売中



Kondo Nobuko Plays Schönberg *
WWCC-7489 (定価2,500円 税抜)

曲目
シェーンベルク: 全ピアノ作品
ウェーベルン: 変奏曲 Op.27, 子供のための小品
ベルク: ソナタ Op.1

CD評
全体に練り上げられた完成度の高い演奏で、数ある「新ウィーン楽派ピアノ曲集」のなかでも重要な一枚になるだろう。
(三橋圭介氏評 — 音楽現代2005年5月号より)



Kondo Nobuko Plays J. S. Bach - Toccatas *
WWCC-7750 (定価2,500円 税抜)

曲目
トッカータ(全7曲) BWV910-916

CD評
哲学的な相貌と思索的な趣があり、それと肉体的なダイナミズムや情熱が不思議なバランスで同居している。
(那須田務氏評 — レコード芸術2007年6月号より)

レコード芸術2015年10月号特選盤



Kondo Nobuko Plays J. S. Bach
ALCD-9153 (定価2,500円 税抜)

曲目
半音階的幻想曲とフーガ 二短調 BWV903
幻想曲とフーガ イ短調 BWV904
3声・6声のリチェルカーレ 《音楽の捧げもの BWV1079》より
最愛の兄の旅立ちに寄せるカプリッチョ 変ロ長調 BWV992
4つのデュエット BWV802-805
イタリア協奏曲 へ長調 BWV971

CD評
実に穏やかで深見のある美音と確かなテクニクで美しく演奏されているのだが、表面的に煌びやかところは微塵も無く、ひたすら音楽に埋没したような、深い精神性を感じさせる表情に打たれる。
(福本 健氏評 — 音楽現代 2015年11月号より)

*在庫僅少ですが、NAXOS Music Libraryでも配信中です。
ml.naxos.jp/album/WWCC-7489
ml.naxos.jp/album/WWCC-7750